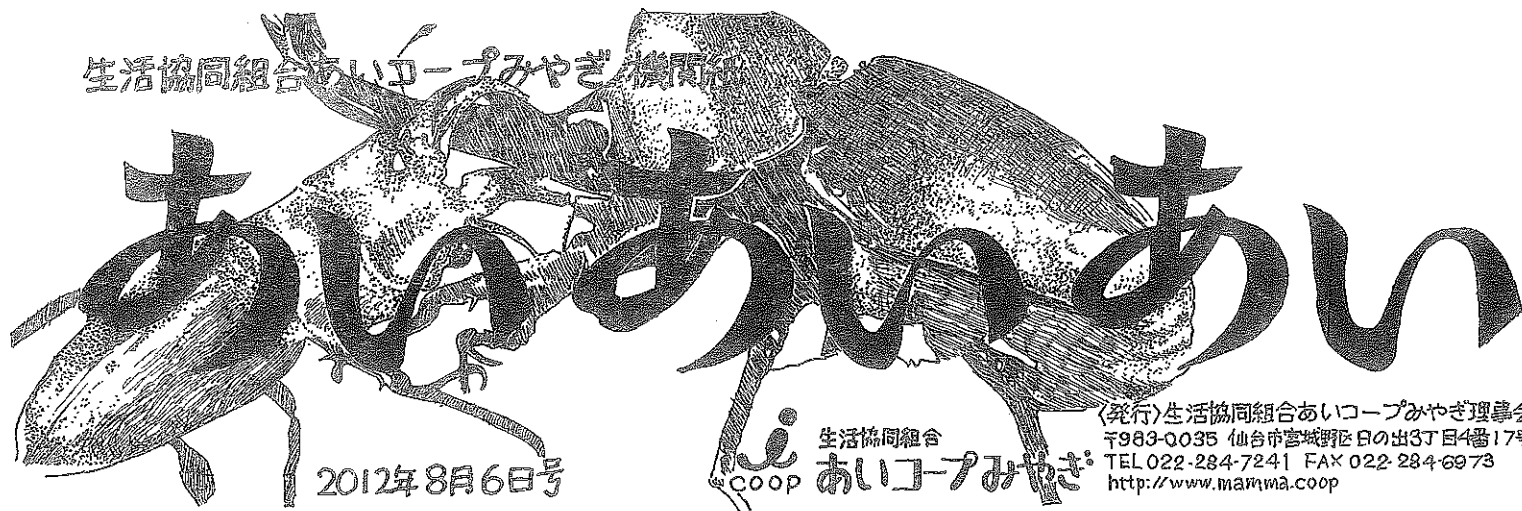


生活協同組合あいコープみやぎ 仙台市



2012年8月6日号

生活協同組合
COOP あいコープみやぎ

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出3丁目4番17号
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973
http://www.mamiwa.coop



生産者の
青木純さん



青木商店

とろてん

天草100%で昔ながらの胸突きで作りました。酢などで味つけし、さっぱりした喉ごしをどうぞ。

『とろてん』

自慢の涼味。
「青木のとろてん」をご賞味ください。

いつもご利用頂きありがとうございます。
当社のとろてんは伊豆産の上質の天草を使用しております。そのために、風味も良く弾力のある美味しいとろてんに出来上がっています。とろてんの製造を始めてから50年以上になります。その当時から、基本的な製造法を変えずに続けて参りました。

暑夏を乗り切る一品としては是非「青木のとろてん」をお試しく下さい。



報告

6月25日(月) 生協あいコープふくしま総代会に参加してきました。

心を寄せ合い、
一緒に活動していきましょう

生協 あいコープみやぎ副理事長 工藤 恭子

あいコープふくしまの総代会に、参加してきました。

まず、佐藤理事長より、組合員と子供達が少しでも放射線量の少ないところで過ごすための一時避難への資金援助を含めた、あいコープみやぎはじめ各団体からの支援に対するお礼の言葉が述べられました。

そして、これまでの一年、「この地で暮らすしかない」との思いで、専門家による学習会や、生産者と共に可能性に掛けて試みてきた除染方法の数々を行い、情報を集めました。これらのことから、今後は「暮らすしかない」覚悟が、「生き延びて見せる」に変わったとの決意が語られました。同時に国や東電に対し、補償を求めて行くこと、そして、何よりも「脱原発」を実現して行くことや、困難はまだまだ続くと言うことも語られました。

議案提起の後、会場からは、発言を準備していた組合員から、「始めは絶望の淵にあったが、学習会に参加したり、広報“ひまわり”の記事に励まされ、ここまで来た。それらによって、不安が一つ一つ解消された。不安がなくなったわけではないが、これらの経験をこれからも積み重ねて行くことで、前向きに生活して行こうと思う」との意見が出されました。

そして、今回、自分達で、ホールボディーカウンターを準備するとの議案が提起されていました。購入には、かなりの資金が必要となりますし、ある程度の維持費も必要となります。これについては「発熱などで具合が悪い時、体温計で熱をはかり、自分の健康状態を確認します。それと同じように、自分の体の状態をわかりたい」と、学校の代休を利用して参加した中学生の発言もありました。

この議案については、賛否両論ありましたが、提起された議案は、全て可決されました。

10月に行うWa!わあ祭りには、あいコープふくしまの皆さんをご招待する計画もあります。

私達あいコープみやぎも、同じ被災した生協同士、出来るだけ心を寄せ合い、これからも一緒に活動して行きましょう。

あいコープカレンダー

7月20日現在



テーマ あいコープにはあいがあ
うまいものにもあいがあ
キーワードは あい を 探せ!!

生産者の皆さんと組合員と職員が
作り上げる お祭りです。

8/29(水) 自然エネルギー・体験集会!

1)省エネや自然エネルギーのこと、自然エネルギー・体験の
これからの活動を話し合います。
みんなで、省エネ・自然エネルギーの実践を勉強し
組合員に広がる活動をしてみませんか!?

日時: 8月29日(水) 10:00~12:00

会場: 生協あいコープみやぎ仙台市宮城野区
2F 会議室

申し込み締切: 8月17日(金) 申し込みは、お電話か、お申し込み用紙にて

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-255-044
情報はホームページでもご覧いただけます。

あいコープ 検索!



社会福祉法人みんなの輪

7/8(木)事業所見学ツアーに参加して

～米粉パンはあいコープの愛のかたち～

7月18日(木)、社会福祉法人みんなの輪後援会主催で行われた事業所見学ツアーに組合員33名が参加しました。

「福祉ってなんだろ?」「誰もが安心して暮らせる地域社会」とは? という視点から、私達になじみの深い米粉パンや、わはわのジャムの製造工程を知ることで障害をお持ちの事業所で働いている利用者さんと身近に繋がっていると実感したツアーになりました。

最初に訪れたのは大郷の味明(みあけ)の作業所です。利用者さんの体調や得意分野を見極めて、それぞれの一日の作業が決まります。大郷のお米を使った製粉所では試験運転を始めていました。

次にパン工房です。皆さんは、わはわの米粉パンのあの形が、どうしてあの丸い形がゴザンですか? あの丸い形には訳があります。利用者さんの手の中にすっぽりと納まるように配慮されて、あの形なのだそう。利用者さんでもパートさんでも、安心して作れるまあい愛の形なのです。パン工房では、1日5000個の様々な種類の米粉パンを9人のスタッフと18人の利用者さんで製造しています。

三カ所目に向ったのは、遠見場にある若林障害者福祉センターの一角にある「伊勢の」です。ここで、美味しいランチを頂きました。ここでも利用者さんが活躍しています。あいコープの食材をばんだんに使っているので、いつもの「あいごはん」がここにあります。優しい時間は、あっという間に過ぎました。これからは「百聞は一見にしかず」どんどん見学の機会を増やして、あいコープとみんなの輪の繋がりを広げていきたいと思いました。

理事 高橋千佳



7/16(月)「さようなら原発10万人集会」

17万人集う!!

一人ひとりが脱原発の声を挙げよう!

脱原発を目指して、作家の大江健三郎さんらが呼びかけた「さようなら原発10万人集会」が、7月16日(月)東京で開催されました。参加者数は主催者発表で17万人を越え、あいコープみやぎからも組合員、理事職員9名が仙台から参加しました。

会場である東京、渋谷の代々木公園に11時に到着。猛暑の中、テント出発から終了までの時間と長丁場ながら、阻止ネットの皆さんと「原発いらない!」「子どもを守ろう!」と声を挙げてきました。治道の人々も手を振り笑顔で応援してくれました。

脱原発の実現には問題がたくさんあります。しかしだからこそ一人ひとりが声を挙げるのが大切です。まずはパブリックコメントをゼロシリオで出しましょう。詳しくは配布済みのチラシをご覧ください。メーリングは8月12日です。理事 鈴木智子

生産者っうしん!!

大震災から1年と4か月。皆さんは、お元気ですか? 苦境から一歩前に踏み出す時、いろいろな人の力が合わさっています。以前の東北には戻れないけれど、もっとそれ以上の姿になれる様願って... 今回は、6月27日に太白地区委員会企画した、(株)リアスの料理教室の報告です。

一日も早い三陸の海の復興を願って... リアス料理教室開催しました!

乾物・海藻でおなじみの(株)リアスの料理教室を開催しました。海藻やだし文化の話、そして東日本大震災から現在までのお話を坂詰専務が熱く語り下さいました。取引先の半数が三陸の生産者さんで、津波で5万トンもの海藻が流され商品の供給ができなくなったこと。その上、原発事故による海の放射能汚染...と厳しい状況が続く中、輸入物で代替せず、日本全国の生産者達とのこれまでの繋がりを生かし、国産の海藻で乗り切覚悟を決め、今に至るそうです。名前の由来でもある三陸リアスの復興の為に全国各地で地道に支援活動をされている専務の姿に、力強い日本の絆を感じました。

でき上がった料理Q&Aはどれも美味しく手軽にできそうなものばかり。中でも「むじきのゴージャスアンダー」は普通のゴージャスアンダーにむじきを加えただけの手軽さで、鉄分や納豆、いわいのむじきを手軽にとれる美味しい一品でした!!
免疫力アップ効果もある海藻を食卓に上手に取り入れ、一日も早い三陸の海の復興を願いたいと思います。

太白地区委員 石川佳名子

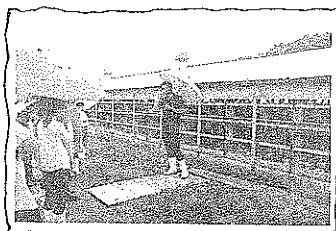


(株)リアス
坂詰専務さん

報告 7/5(水) 米沢郷 養鶏場訪問 名取岩沼・亘理地区委員会

ストレスを与えない飼育方法!?

7月5日、七ヶ宿にある米沢郷牧場の養鶏場に行きました。この米沢郷では鶏たち5万羽が自由に走り回れるスペースで飼育されており、自然の風と光が入る鶏舎にして、鶏たちにストレスを与えない飼育方法を取っているそうです。また、飲料水にBM活性水と乳酸菌を加え、飼料は非遺伝子組換えにしています。また米沢郷では自然循環型農業に取り組んでおり、糞尿を堆肥化して田畑に還元し飼料米にして餌に加えています。そして将来的には、糞尿から出るガスを利用して電気を自分たちで作りたいという夢を聞かせていただき組合員の方にも伝えたいと思いました。



名取岩沼・亘理地区委員 菊地香子